

本時のねらい

- 身近なデータの平均を求め、自分の生活と結びつけながら平均の理解を深めることができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- 平均を求める対象を動画として取り溜めることで、数が持つ意味を理解しやすくなる。
- Numbers を活用することで、アンケート結果を表やグラフに表せるため、簡単にわかりやすく整理することができる。
- 他の児童が集めたデータを、時間・空間を超えて活用することができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- 学習支援アプリ（ロイロノート）
- Numbers
- 万能電卓

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○既習事項を振り返る。 ○本時のめあてを確認する。 「身近なデータについて平均を求め、平均の良さを見つけよう」 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習内容を教師用のタブレットを使って掲示し、「ならず」を振り返る。 ・事前にロイロノートのアンケート機能を使ってアンケートカードを作り、学級の児童からの回答を集めておく。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○フラフープの記録を表に打ち込む。 <ul style="list-style-type: none"> ・動画で回数を確認する。【写真 1】 ・平均の予想を立て、立式し、平均を求める。 ○今日のフラフープの記録を実際に測定し、平均記録と比較する。 ○学級の児童を対象にした「昨日、湯船に浸かった時間」のデータを取り上げ、表に打ち込む。 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートをもとに表に整理する。【写真 2】 ・平均の予想を立て、立式し、平均を求める。【写真 3】 ○自分が湯船に浸かった時間と、クラスの平均記録を比較する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に録り溜めたフラフープ動画を視聴する。その際、スロー再生機能も使い、正確に回数を確認する。 ・教師作成の表とグラフが連動する Numbers シートに数値を打ち込む。 ・マークアップ機能を用いて、計算で求める。 ・グラフや基準線を表示させることで、量感を視覚的に捉えることができる。 ・学級の児童を対象にしたロイロノートのアンケート結果を活用し、Numbers にデータを整理する。 ・平均を求める数が増えるため、万能電卓を活用する。 ・自分が湯船に浸かった時間をグラフに書き込み、視覚的に比べられるようにする。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習のまとめ、振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・データをもとにして、Numbers でまとめ、振り返りを行う。 ・記入できたシートはロイロノートに書き出し、支援学級担任と算数担当教員に送信する。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】 動画で回数を確認している場面



【写真 2】 アンケートの回答を Numbers で整理している場面



【写真 3】 結果のグラフに平均の基準線を表示させている場面

児童生徒の反応や変容

- ・本時で扱う「身近なデータ」を自身の記録としたことや撮影動画を視聴しながら回数を調べたことで、積極的に活動することができた。
- ・児童が知りたいテーマをアンケート項目に設定したことで、他者の回答に「分かるわ」「そうなんや、意外」と反応を示していた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・Numbers を活用することで、アンケート結果をすぐにグラフ化でき、「ならず」という平均の意味をより理解することができた。
- ・児童が本時でまとめた Numbers のシートは、算数担当教員を通じて学級で紹介した。違う教室で学習を進めているが、お互いに目標を持って学んでいるということも、ICT の良さを生かして伝えることができたと感じた。